

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2026年4月10日配本 定価11000円(本体10000円+税)  
クラウド・フィーヴェーク 著／大河内泰樹、滝口清榮、早瀬明 監訳

四六判上製・926頁

《叢書・ユニベルシタス 1202》

自由の思惟 ヘーゲルの『法哲学要綱』

ISBN978-4-588-01202-0 C1310

ヘーゲルの全著作、そして刊行された全ての講義録に関する広範な見識と深い理解を縦横無尽に駆使して、ヘーゲルの『法哲学』が、自己規定と正義の近代哲学的理論、理性的で普遍主義的で自由な意図における思惟、自由のアクチュアルな哲学であることを証明する。旧東独出身の著者が「自由の思惟」を継承すべく徹底してアクチュアルな著作として『法哲学』を読み解き、現在にヘーゲル的転回を引き起こす。

【哲学・思想】

☆関連書：大河内泰樹・久富峻介編『生命と自然』、ホネット『自由の権利』、ピピン『ヘーゲルの実践哲学』、ヘーゲル『美学講義』ほか(小局刊)。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2026年4月10日配本 定価3850円(本体3500円+税)  
神子島 健 著

四六判上製・360頁

《サビエンティア 82》

支配と加害 中国侵略を描いた作家たち

ISBN978-4-588-60382-2 C1321

★★ 戦時中に中国にいた武田泰淳、堀田善衛、火野葦平、五味川純平は、敗戦間もない1950年代に戦争責任に向き合う作品を著した。『人間の条件』など戦争のおどましさをあぶりだした作品は多くの人に読まれたが、日本社会が当事者意識をもって植民地への加害を争点化するのには1980年代以降である。なぜ数十年の時間を要したのか、彼らの作品を読み解きながら日本人の歴史認識をあらためて考察する。

【歴史認識】

☆関連書：宇田川幸大ほか『体験者「ゼロ」時代の戦争責任論』岩波書店、神子島健『戦場へ行く、戦場から還る』新曜社など。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2026年4月21日配本 定価4730円(本体4300円+税)  
山本佳生 著

A5判上製・272頁

ユマニズムの「場」 初期近代におけるコモンプレイス・ブックの理論と実践 ISBN978-4-588-15152-1 C3010

★ ルネサンス期の人文主義者らは古代の著作家から格言や警句を引用する際、膨大な歴史的テキストをどう利用していたか。印刷術の発明による情報氾濫のなか出現した「コモンプレイスブック」(見出し語別引用句集)に注目し、過去の知を整理することで弁論や執筆を助けるツールが初期近代の共通の文化的基盤をなした背景を跡づける。図書館学・百科全書学にも新たな歴史的展望をもたらす画期的。

【思想・文化史】

☆関連書：アン・ブレア『情報爆発——初期近代ヨーロッパの情報管理術』(中央公論新社)、桑木野幸司『ルネサンス 情報革命の時代』(ちくま新書)ほか。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2026年4月24日配本 定価3960円(本体3600円+税)  
法政大学江戸東京研究センター 編／米家志乃布、陣内秀信、小林ふみ子 監修

A5判並製・264頁

《EToS叢書 5》

海からみる江戸東京 東京湾の過去・現在・未来

ISBN978-4-588-78015-8 C1352

江戸の名所絵には、豊かで美しい東京湾が多く描かれている。100万人都市の食文化を彩った漁場であり、経済の基盤たる舟運物流の要であり、国防戦略の重要拠点でもあった江戸東京のウォーターフロントを地理学、歴史学、建築学をはじめとする各分野の第一人者が論じる。再開発の嵐にさらされ今なお変貌をつづける東京湾岸地域から江戸東京の成り立ちを捉えなおし、海とともに生きる未来をデザインする一冊。

【都市論】

☆関連書：EToS叢書2『風土(Fudo)から江戸東京へ』、EToS叢書3『水都としての東京とヴェネツィア』など(小局刊)。

## 重版

部数

法政大学出版局 2026年4月25日重版出来 定価4840円(本体4400円+税)  
ジャック・デリダ 著／高橋允昭、藤本一勇 訳

四六判上製・378頁

《叢書・ユニベルシタス 771》

哲学の余白 上 〈新装版〉

ISBN978-4-588-14066-2 C1310

デリダの脱構築の基本思想が明らかにされる重要なテキスト。序説とも言える「タンパン(鼓膜)」、エクリチュールの問題から脱構築を説明した「差延」、ヘーゲルやハイデガーの時間概念を論じた「ウーシアとグランマー」、ヘーゲルの記号論に関する「堅坑とピラミッド」、ルソーの言語論についての「ジュネーヴの言語学サークル」などを収め、厳密かつ生成的な「脱構築」の必要性を説く。

【哲学・思想】

☆関連書：デリダ『散種』、『有限責任会社』、『法の力』など(小局刊)。今回の重版より本体価格が4000円→4400円に変更となります。

ご担当者様 氏名：[ ] 担当ジャンル：[ ] TEL：[ ]

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。  
ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/